



みんなでつないでいこう 思いやりの心

いじめを許さないまち八王子

「いじめを許さないまち八王子条例」を聞いたことがありますか？

これは、「いじめを絶対に許さない」という理念のもと、いじめが起こらない環境づくりやいじめを見つけたときの大人・子どもの責任や役割について定めたものです。

市では、いじめのない健全な環境をつくるには「思いやりの心」こそが重要であり、「思いやりの心」の育みを、重点目標に据え、継続して推進しています。

参考リンク



八王子市
「いじめを許さないまち八王子条例」

「思いやりの心」=相手の立場に立って考えること

「思いやりの心」とは、何でしょう？

それは、相手の立場に立ってものごとを考えることです。子どもは、家庭・学校・地域での人との関わりの中で、「思いやりの心」を学び、成長していきます。特に、日頃から家庭でのコミュニケーションを通して、相手の立場に立って考える習慣を身につけることは、とても大切です。家庭での習慣が身につけば、「思いやりの心」が学校、さらに地域にも広がっていきます。

POINT 相手の立場に立って考える習慣を身につけるには…

- 「思いやりの心」がなくなると、どうなってしまうかを家族でいっしょに考えてみましょう。
- 子どもが高齢者に席をゆずるなど、思いやりのある行動をしたらほめましょう。
- イベントやお祭りなど地域の行事に家族で参加して、さまざまな世代の人と交流してみましょう。

などなど…。これは、ほんの一例ですが、大切なのは、大人が子どもの手本になる行動をとることです。

みんなで「思いやりの心」を育む環境をつくろう！

子どもたちの「思いやりの心」を育むためには、家庭や学校だけではなく、地域の手も必要です。市は、地域のみなさんには日々の声かけ、家族で参加できる行事の運営、ごみ拾い活動など、子どもの健やかな成長を支える「環境づくり」に努めて欲しいと考えています。

「思いやりの心」の大切さをしっかり子どもたちに伝えるため、みんなで手を取り合いましょう。

つながり ひろがる 思いやりの心 ~館地区の取り組み~



令和元年度(2019年度)の健全育成推進区域は、館地区でした。この取り組みについて、八王子市青少年対策館地区委員会・荻原会長に聞いてみました。

「館地区では、標語募集、地域清掃活動、花いっぱい運動など様々な活動を行いました。特に、12月の青少年対策館地区マラソン大会は、21回目の開催を迎える歴史ある大会です。地区内の小・中学校3校合同で、児童・生徒が交流することや、子どもに大人たちが協力する姿を見せ、責任と思いやりの心を育むことを目的に、PTA・学校・小中学生・青少年対

策地区委員、その他地域関係者、総勢 300 名を超える方々のご協力で実施しています。

この大会は、地元の大学の陸上部にご協力いただき、走り方のデモンストレーションを行っていることも特色です。子どもたちは、大学生の綺麗なランニングフォームを見て、目を輝かせていました。

多世代交流の機会が不足しているといわれている中、これからも、思いやりの心を育むこの大会が続いていくよう地域の皆様と協力していきます。」